

令和5年度「新しい東北」復興・創生の星顕彰を受賞。
アップサイクル商品を全国販売し、気仙沼の再興に貢献。

食品ロス削減により資源循環社会の実現を目指す株式会社ロスゼロ(大阪市西区、代表 文美月)は、復興庁が主催する令和5年度「新しい東北」復興・創生の星顕彰を受賞したことをうけ、2月11日に仙台で行われた授賞式に参加しました。

当社では、気仙沼市のいちご農家で発生した規格外いちごを、未利用のチョコレートとあわせてアップサイクルさせて全国に販路を開きました。気仙沼の農家、NPO、大企業とともに開発した商品であり、このたび東北の産業再興に貢献している点で評価されました。



土屋品子復興大臣と受賞者との記念撮影

■授賞式の様子

応募総数123件の中から外部有識者による選定委員会を経て10団体が受賞。当日は土屋品子復興大臣より受賞団体に顕彰状と顕彰盾が授与されました。また、授賞式のあとの品川復興大臣、選定委員長、受賞団体の間で、さらなる地域活性化を目指す今後の取り組みに関して活発な意見交換が行われました。

■「新しい東北」復興・創生 概要

復興庁では、「新しい東北」の創造に向けた取組について、大きな貢献をされている個人及び団体に光を当てることにより、その活動を広く情報発信するとともに、被災地内外への普及・展開を図るために平成28年度から顕彰を行っています。対象分野は2つあり、当社は分野Bの産業・生業の再生において受賞しました。

HP: https://www.newtohoku.org/kenshou/news/R5_awards.html

■受賞の対象となったアップサイクル食品「Re:You気仙沼みなといちご」

ロスゼロでは食品ロス削減と地域の魅力再発見を目指し、商品化されず廃棄につながっていた未利用原材料に新しい命を吹きこむアップサイクル食品開発事業を運営しています。「食べる理由がある」という意味を込めた独自のRe:You(りゆう)シリーズで展開し、開発過程では様々なセクターの強みを活かす形で協業しています。



「Re:You気仙沼みなといちご」は、いちご農家シーサイドファーム波路上の佐藤代表(写真左上)、ロスゼロといちご農家の橋渡し役になった気仙沼まち大学運営協議会の成宮さん(中央右)、みなといちごのラベルデザインを担当した気仙沼出身・在住デザイナーの志田さん(中央左)他、多くの人の思いが重なって誕生しました。

当いちご農家では、形や大きさが不揃いで出荷することができないいちごが年間数トン発生しています。「Re:You気仙沼みなといちご」は規格外のいちごをフリーズドライ化し、未利用で上質素材のホワイトチョコレートと合わせブロック状にすることで、いちごの形をポジティブに活かしたメッセージ性のある商品となっています。

2022年6月にはアップサイクル商品コンテストにて「JR東日本賞」を受賞した他、百貨店の常設店舗での販売や、ふるさと納税の返礼品にも採択されるなど、継続的な販売促進につなげています。



「Re:You気仙沼みなといちご」商品ページ: https://losszero.jp/products/reyou03_1
気仙沼市のみなさんの想い(動画): <https://youtu.be/1ZbVMzXlrA0>
ロスゼロの思い、商品開発ストーリー(動画): https://youtu.be/Y_0YL9odxdw

■ ロスゼロ表彰実績

2020年:「食品産業もったいない大賞」特別賞受賞
2021年:パナソニックグループ主催「淡路島スタートアップイノベーションコンテスト」準グランプリ
2022年:「東急アライアンスプラットホーム2021 DemoDay」オーディエンス賞・SOIL賞
アップサイクル食品コンテスト「K,D,C,,, Food Challenge」JR東日本賞
「日本サブスクリプションビジネス大賞2022」特別賞
「CSOフォーラム2022」グランプリ・大阪ロータリークラブ賞
2023年:「令和4年度おおさか環境賞」大賞
環境省・消費者庁「食品ロス削減推進表彰」審査委員会委員長賞

■ 会社概要

・代表取締役 文美月
・ロスゼロ事業開始 2018年4月
・〒550-0014 大阪市西区北堀江1-1-21 四ツ橋センタービル9F
・資本金(資本準備金含む) 6,000万円
・URL: <https://losszero.co.jp/>



■ 本件に関するお問合せ先

株式会社ロスゼロ 広報担当:文、内田
電話:06-4708-7802 FAX:06-4708-7810 メールアドレス:support@losszero.co.jp